

[証券コード6155]

TAKAMAZ

第43期中間事業報告書

平成15年4月1日から平成15年9月30日

株主の皆さまへ

高松機械工業株式会社

株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社は平成15年9月30日をもちまして第43期上半期（平成15年4月1日から平成15年9月30日）を終了いたしましたので、ここに営業の概況ならびに中間決算の状況についてご報告申し上げます。

営業の概況

●●●●●● 当上半期の市場動向および成果 ●●●●●●

当上半期のわが国経済は、イラク問題やSARSの影響により昨年度に引き続き低調にスタートしましたが、株価の回復やリストラ効果に基づく企業収益の改善による影響で明るい兆しが見え始めました。工作機械業界では昨年10月以降12ヶ月連続で前年同月を上回る受注があり、上半期の受注高は前年同期比23.8%増の4,175億円でした。

このような状況の中で、当社といたしましては、販売体制の見直しや昨年度展示会にて発表した新機種を中心とした積極的なユーザ密着型営業の展開により、海外受注の強化をはかってまいりました。これら活動の成果からも、GM社から初めて受注をいただきました。また期首計画通り8月にタイの現地法人、9月には独EMAG社との合弁会社タカマツエマグと、2つの会社を設立いたしました。研究開発につきましても当上半期中に3機種の開発を完了しております。

これらの結果から当社の工作機械受注高におきましては、前年同期比57.0%増の56億76百万円と、大幅な増加を達成することが出来ました。売上高につきましては49億46百万円（前年同期比16.7%増）となり、そのうち内需が35億26百万円（同16.6%増）で、外需では14億20百万円（同16.9%増）と比率が28.7%に達し、計画に対して順調に推移しました。また、営業利益3億6百万円（同2億93百万円増）、経常利益2億99百万円（同2億79百万円増）と、こちらも大きく増加させ

さらなる進化、新機種投入

当社はユーザーニーズを満足させる新商品開発に力を注いでおります。当上半期には3機種の新製品を開発いたしましたのでご紹介いたします。

『XW-50』

1台で2つの異なる部品を同時に加工できるXWシリーズの新商品です。新開発の高速3軸サーボローダを搭載し、集約生産に威力を発揮します。また、生産現場における単位面積当たりの稼働率を高めるために限りなく省スペースを追求し、フロアスペース1坪以下を実現しました。

『X-150』

従来機種「X-15」のマイナーチェンジ。最新のFANUCコントローラーの採用による性能向上をはかりながらも、他機種との部品共通化によりさらなる低価格を実現しました。

『XY-1000』

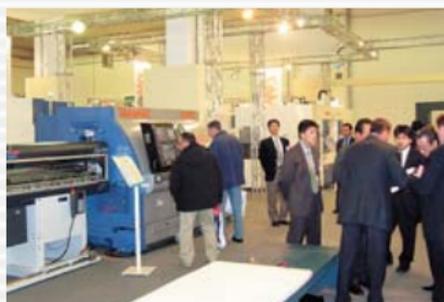
全9軸制御であらゆる加工を可能とし、早送り速度を高速化してアイドルタイムの短縮を実現しました。また、TAKAMAZに新たなイメージを醸し出す新デザインを採用しました(写真参照)。



EMOショーに出品

世界3大国際工作機械見本市の一つであるEMOショーがイタリア・ミラノ(同国では8年ぶり)で開催されました。8日間における全体来場者数は約7万人と、前回よりも減少しましたが、当社ブースには前回よりも多くの熱心なお客様に来ていただきました。今回は新機種を含む5機種を展示しましたが、特に初披露となった「XY-1000」(上記参照)は、ヨーロッパのディーラーやユーザに非常に好評をいただきました。

このたびの展示会ではヨーロッパの自動車、部品メーカーから多くの引合・受注をいただき、目標以上の引合高・受注高を達成することができました。当社はヨーロッパでのサービス・メンテナンス体制の強化を進めており、今回受注をいただいたユーザのリピート率を高めるようになっていきます。



タカマツエマグ営業開始

去る9月9日にドイツの工作機械メーカー、EMAG社との合併会社「株式会社タカマツエマグ」を設立し、9月12日には金沢全日空ホテルにて設立記念セレモニーを行いました。セレモニーには代理店や主力ユーザを中心とした業界関係者の方々およそ100名に出席していただき、新会社のスタートを盛大に祝っていただきました。



10月1日の営業開始より既に何台かの引合の話を受けており、EMAG社の既存ユーザからはサービス・メンテナンスに期待されていることから、年間5億円の売上高を計画しております。

この子会社の活動の影響が、親会社である当社の売上増につながるように、積極的な営業を展開していきます。

タイ現地法人としてスタート

タイ駐在所が現地法人として新しくスタートしました。タイでは自動車産業が非常に活発です。日本はもちろん世界各国の自動車メーカーが進出しており、それにとまって部品メーカーも数多く進出しております。それゆえ、「アジアのデトロイト」とも形容されたりします。当社



でも海外輸出の約2割をタイが占めております。そこで顧客満足度の向上をはかるために、現地法人化し、人員も2名から10名に増加したことによって、サービス・メンテナンス体制を強化しました。

これまでの駐在所時代と違い、これからは独立採算をとる必要がありますので、社員一丸となって、売上・利益の確保に努めます。

開発センター完成

半導体部品製造装置の新研究棟「開発センター」は11月中旬の完成に向けて順調に建設が進んでおり、皆様がこの記事を読んでおられる頃には既に完成し、運用していると思われます。

この開発センターの完成によって引合が活発化してくると予想されますので、新分野事業の売上高アップをはかっていきます。

貸借対照表

中間貸借対照表 (平成15年9月30日現在)

(単位：千円)

科目	当中間期 (平成15年9月30日)	前中間期 (平成14年9月30日)	前期 (平成15年3月31日)
(資産の部)			
流動資産	5,989,723	5,389,274	6,081,003
現金及び預金	1,218,593	1,034,714	1,068,706
受取手形	886,647	1,138,079	1,372,162
売掛金	2,351,255	1,841,224	2,260,164
たな卸資産	1,294,449	1,129,473	1,185,907
関係会社短期貸付金	24,000	—	24,000
繰延税金資産	167,298	211,807	157,625
その他	69,729	60,692	35,588
貸倒引当金	△ 22,250	△ 26,718	△ 23,152
固定資産	3,572,668	3,512,921	3,489,670
有形固定資産	(2,991,765)	(3,117,980)	(2,999,949)
建物	540,116	572,928	551,531
機械及び装置	633,378	779,465	695,486
土地	1,604,099	1,604,099	1,604,099
その他	214,170	161,486	148,831
無形固定資産	(2,226)	(2,330)	(2,330)
投資その他の資産	(578,676)	(392,611)	(487,390)
投資有価証券	227,374	188,078	196,990
関係会社株式	94,500	50,000	50,000
関係会社長期貸付金	64,000	—	76,000
繰延税金資産	30,327	—	4,516
その他	214,805	230,171	215,213
貸倒引当金	△ 52,330	△ 75,638	△ 55,330
資産合計	9,562,392	8,902,196	9,570,674

(単位：千円)

科 目	当中間期 (平成15年9月30日)	前中間期 (平成14年9月30日)	前 期 (平成15年3月31日)
(負債の部)			
流動負債	4,253,523	3,963,471	4,470,094
支 払 手 形	2,081,935	1,543,998	2,002,200
買 掛 金	756,043	605,605	735,470
短 期 借 入 金	730,000	1,460,000	1,210,000
1年以内返済予定の長期借入金	174,800	78,480	105,840
未 払 法 人 税 等	160,800	3,995	104,554
賞 与 引 当 金	122,358	80,906	101,847
そ の 他	227,586	190,486	210,181
固定負債	628,798	426,346	478,089
長 期 借 入 金	189,330	69,200	102,600
繰 延 税 金 負 債	—	110	—
退 職 給 付 引 当 金	293,771	240,275	275,922
役員退職慰労引当金	63,439	—	—
そ の 他	82,257	116,759	99,566
負 債 合 計	4,882,321	4,389,817	4,948,183
(資本の部)			
資本金	1,247,395	1,247,395	1,247,395
資本剰余金	1,190,355	1,190,355	1,190,355
資 本 準 備 金	1,190,355	1,190,355	1,190,355
利益剰余金	2,305,185	2,056,787	2,245,767
利 益 準 備 金	95,608	95,608	95,608
任 意 積 立 金	1,951,284	1,917,832	1,917,832
中間(当期)未処分利益	258,292	43,346	232,326
その他有価証券評価差額金	44,865	17,840	27,422
自己株式	△ 107,730	—	△ 88,450
資 本 合 計	4,680,070	4,512,378	4,622,490
負 債 資 本 合 計	9,562,392	8,902,196	9,570,674

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

損益計算書／業績の推移

中間損益計算書 (平成15年4月1日～平成15年9月30日)

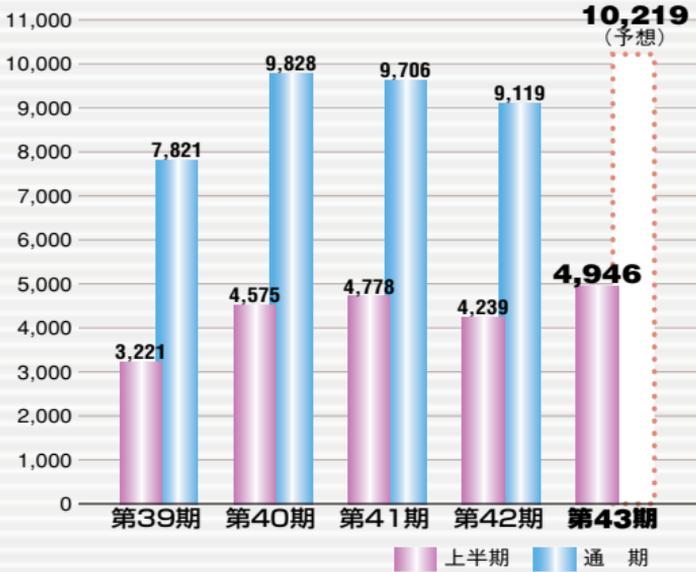
(単位：千円)

科 目	当中間期	前中間期	前 期
	自平成15年4月1日 至平成15年9月30日	自平成14年4月1日 至平成14年9月30日	自平成14年4月1日 至平成15年3月31日
売 上 高	4,946,528	4,239,316	9,119,680
売 上 原 価	3,780,886	3,413,540	7,093,187
売 上 総 利 益	1,165,642	825,776	2,026,492
販売費及び一般管理費	859,214	812,372	1,630,399
営 業 利 益	306,427	13,404	396,092
営 業 外 収 益	11,632	27,648	39,011
営 業 外 費 用	18,475	21,003	34,410
経 常 利 益	299,585	20,048	400,693
特 別 利 益	3,877	8,388	16,832
特 別 損 失	53,769	148,724	188,506
税引前中間(当期)純利益 又は中間純損失(△)	249,693	△ 120,287	229,019
法人税、住民税及び事業税	161,146	3,995	120,597
法 人 税 等 調 整 額	△ 47,321	△ 42,215	1,508
中間(当期)純利益 又は中間純損失(△)	135,868	△ 82,066	106,913
前 期 繰 越 利 益	122,424	125,412	125,412
中間(当期)未処分利益	258,292	43,346	232,326

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

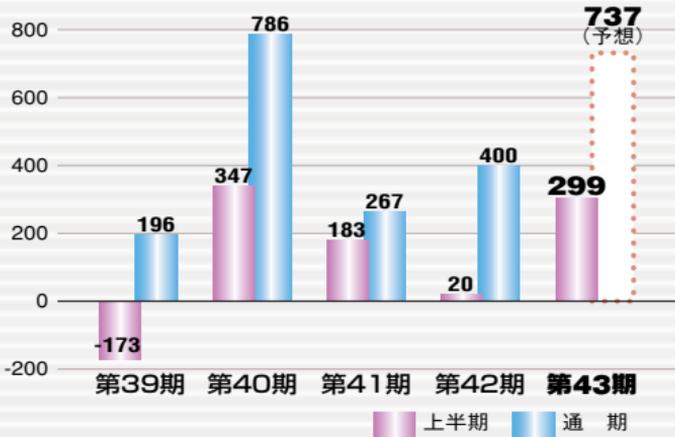
売上高

(単位:百万円)



経常利益

(単位:百万円)



当期純利益

(単位:百万円)



会社の概況 (平成15年9月30日現在)

会社概要

商号	高松機械工業株式会社
設立	昭和36年7月
資本金	12億4,739万円
本社	石川県松任市旭丘1丁目8番地
従業員数	289名
ホームページアドレス	http://www.takamaz.co.jp

株式の状況

①会社が発行する株式の総数	18,000,000株
②発行済株式総数	8,350,000株
③1単元の株式数	1,000株
④株主数	375名

役員

代表取締役社長	高松喜与志
常務取締役(生産本部担当)	前田充夫
常務取締役(営業本部担当)	中西与平
取締役(産機部長)	池上佳信
取締役(営業本部国内営業部長)	川上友安
取締役(管理部長)	溝口清義
取締役(品質保証部長)	水上新喜和
常勤監査役	砂崎友正
監査役	田井郁朗
監査役	谷口郁朗

株価インフォメーション



ネットワークとサービス体制

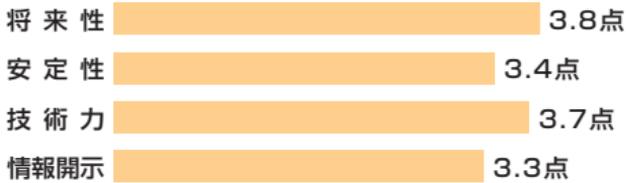


アンケートのご報告

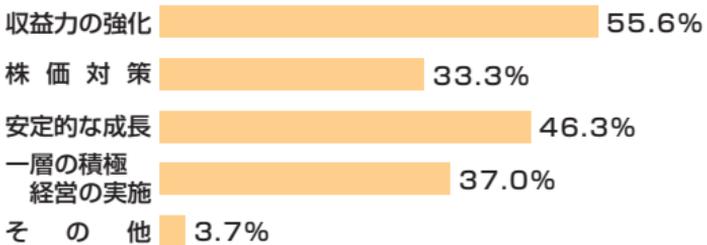
アンケートにご協力いただきありがとうございました。

第42期事業報告書に同封いたしましたアンケートをご返送いただきましたので、その一部ではありますが、結果報告をさせていただきます。

●投資対象としての当社の評価をお教え下さい。(5点満点)



●今後、当社の経営に対して何を望みますか？(複数回答可)



●その他、当社に対するご意見

- ・IR活動の充実
 - ・他社に負けない技術力の確保
 - ・事業計画の着実な達成
 - ・ブランド志向の戦略の推進
- 等がございました。

このアンケートでは厳しいご意見もいただきました。ご意見は真摯に受け止め、収益力を強化して安定成長する企業を指向し、IR活動の充実にも努めてまいりますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

株主メモ

- 決算期日 3月31日
- 定時株主総会 6月中
- 株主確定基準日 (1) 定時株主総会 3月31日
(2) 利益配当金 3月31日
(3) その他必要ある時 あらかじめ公告して定めた日
- 名義書換代理人 大阪府中央区北浜四丁目5番33号
住友信託銀行株式会社
- 同 事務取扱場所 大阪府中央区北浜四丁目5番33号
住友信託銀行株式会社証券代行部
- (郵便物送付先)
(電話照会先) 〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10
住友信託銀行株式会社証券代行部
- ☎0120-175-417 (住所変更等用紙のご請求)
自動音声認識装置による24時間対応
- ☎0120-176-417 (その他のご照会)
- 同 取次所 住友信託銀行株式会社全国各支店
- 公告掲載新聞 日本経済新聞
- 但し、商法特例法第16条第3項の定めにより、貸借対照表及び損益計算書に係る情報は、当社ホームページに掲載しております。
- <http://www.takamaz.co.jp>
- お問い合わせ先 管理部 TEL 076-274-1411〈直通〉
FAX 076-274-1418

ホームページについて <http://www.takamaz.co.jp>

より多くの皆様に当社をご理解いただくために、会社概要をはじめ、決算情報等をホームページにおきまして掲載しております。



TAKAMAZ
高松機械工業株式会社

